

賀川豊彦の軌跡訪ね

生誕日に語り部と街巡り

日本を代表する社会運動家賀川豊彦（1888〜1960年）が神戸で活動した地を訪ねる「賀川ウォーク」が、賀川の誕生日の10日、中央区内で開かれた。業績や歩みを伝えようと準備を重ねてきた市民の「語り部」のガイドを聞きながら、約40人の参加者がゆかりの地を歩いた。

（河尻 悟）

賀川が神戸のスラム街で救貧活動に取り組み始めて今年で100年を迎える。これに合わせて事業を展開する「賀川豊彦献身100年神戸プロジェクト」の主催。

語り部は、同プロジェクト事務局顧問の西義人さん（66）が中心となって市民らから募集。昨年8月から著書や資料などを精読してきた。現在は17人が登録している。

この日は13人の語り部が案内した。参加者は雨が降る中、神戸購買組合（コープこうべの前身）の創立事務所があった場所や賀川が1909年3月、神戸で最初の路傍伝道をした場所などを約1時間半かけて巡った。

参加した神戸大大学院1年の奥秋克海さん（23）は「語り部のガイドは分かりやすく、勉強になった。もっと賀川のことを知りたい」と話した。

語り部は今後もガイドをするほか、今年12月に完成予定

中央区 路傍伝道の間など1時間半

の賀川記念館（同区吾妻通5）川は弱者を守るための仕組みに常設されるミュージアムで、を総合的に進めた。その精神も業績などを紹介する。西宮を伝えていきたい」と意気込市の光田嘉子さん（65）は「賀んでいた。



語り部のガイドを聞きながら賀川豊彦のゆかりの場所を訪ね歩く参加者ら（中央区）